

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	3 0 4 1	受理年月日	令和 7 年 4 月 23 日
件 名	有事に備えた食糧備蓄の大幅増の要請		
要 旨	現在、防衛力強化の一環として、軍事装備品を求める要求が多数出ている。しかし、去年の米不足で日本中が大騒ぎ、いかに日本の食の安全・安心の政策は砂上の楼閣であると感じた。 現在、国内では反撃能力を高める取組が進んでいる。しかし、去年の夏、自然災害が多発する状況を目の当たりにした市民は、各家庭でお米を余分に購入、また、新規参入者はお米の買占めに奔走、このためスーパー、米専門取扱業者間で米不足が発生、この状況がマスコミから国内の消費者にけん伝された。このような状況下から、令和の米騒動が発生したと思われる。 しかも、日本の食料自給率は38パーセント（出典：令和5年度食料・農業・農村白書（農林水産省））と先進国では最も低い食料自給率である。 ついては、国に対し、有事に備え、農林水産省所管の食糧備蓄経費を防衛力強化関連予算から支出し、国民が1年間食することができるように食糧備蓄を大幅に増やす意見書を提出することを願う。		
陳 情 者			
回付委員会	総 務 消 防 委 員 会		